

## 平成28年度援護関係予算案の主要事項

## 【27年度予算】

30,335百万円 → 27,819百万円

※社会・援護局（援護）計上分 18,621百万円

※社会・援護局（社会）計上分 9,198百万円

## 1 援護年金

14,576百万円 → 12,264百万円

(受給人員 8,351人 → 6,924人)

## 2 戦傷病者等の妻に対する特別給付金

支給事務経費 (支給対象件数 約3千件)

17百万円

## 3 遺骨収集帰還事業の強化

1,649百万円 → 2,134百万円

## (1) 硫黄島遺骨収集帰還事業

1,060百万円 → 1,360百万円

## (2) 南方・旧ソ連地域遺骨収集帰還事業

588百万円 → 774百万円

ア 情報収集

342百万円 → 430百万円

イ 遺骨収集帰還

247百万円 → 344百万円

## 4 戦没者慰靈事業等

798百万円 → 761百万円

## (1) 慰靈巡拝等

279百万円 → 324百万円

ア 慰靈巡拝

105百万円 → 88百万円

イ 慰靈碑の補修等

98百万円 → 57百万円

ウ 遺骨・遺留品伝達

16百万円 → 21百万円

エ 戦没者遺骨に係るDNA鑑定

60百万円 → 158百万円

裏面に続く

(2) 戦没者遺児による慰靈友好親善事業等	369百万円	→	287百万円
ア 慰靈友好親善事業	351百万円	→	259百万円
イ 海外・国内民間慰靈碑の管理	17百万円	→	28百万円
(3) 全国戦没者追悼式挙行経費	150百万円	→	150百万円
<b>5 昭和館・しょうけい館事業</b>	<b>678百万円</b>	→	<b>634百万円</b>
(1) 昭和館	497百万円	→	454百万円
(2) しょうけい館	181百万円	→	180百万円
<b>6 戦争の経験の次世代への継承</b>	<b>21百万円</b>	→	<b>23百万円</b>
(1) 戦傷病者等の証言映像の収録	21百万円	→	14百万円
(2) 若年世代の語り部の育成等			9百万円
※昭和館、しょうけい館、中国帰国者支援・交流センター等で実施（再掲）			
<b>7 中国残留邦人等の援護等</b>	<b>11, 279百万円</b>	→	<b>10, 689百万円</b>
(1) 中国残留邦人等に対する支援等	11, 058百万円	→	10, 451百万円
ア 支援給付の実施等	10, 872百万円	→	10, 256百万円
イ 配偶者支援金の支給	187百万円	→	195百万円
※上記のほか、職業安定局において生活支援と連動した職業相談に係る経費22百万円を計上			
(2) 戦没者等援護関係資料の移管・整備	135百万円	→	77百万円
(3) 抑留者関係資料の取得及び特定作業関係	86百万円	→	161百万円

※ 百万円単位で四捨五入しているため、各欄の増減が一致しない場合がある。